

令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題の現状について(概要)

1 要 旨

文部科学省が全国における標記調査の結果を取りまとめたところであり、当該結果における山口県の状況について公表する。

2 調査対象

国公立の小・中・高等学校、中等教育学校、特別支援学校

3 山口県における生徒指導上の諸課題の現状(国公立計) ※()内は前年度との比較

	山 口 県		全 国	
	発生件数 (小・中・高・中等)	発生率 (+0.7)	発生件数 (+18,985)	発生率 (+1.5)
暴力行為の発生件数 (小・中・高・中等)	825件 (+90)	6.2件 (+0.7)	95,426件 (+18,985)	7.5件 (+1.5)
いじめの認知件数 (小・中・高・中等・特)	3,867件 (-330)	28.8件 (-2.2)	681,948件 (+66,597)	53.3件 (+5.6)
不登校児童生徒数 (小・中・高・中等)	小学校 973人 (+166)	出現率 15.2人 (+2.8)	105,112人 (+23,614)	出現率 17.0人 (+4.0)
	中・中等前期課程 2,060人 (+264)	61.0人 (+8.2)	193,936人 (+30,494)	59.8人 (+9.8)
	高・中等後期課程 345人 (-3)	11.4人 (+0.2)	60,575人 (+9,590)	20.4人 (+3.5)
高等学校の中途退学者数 (高・中等後期課程)	371人 (-11)	中途退学率 1.1% (±0)	43,401人 (+4,473)	中途退学率 1.4% (+0.2)

※ 暴力行為発生率、いじめ認知率、不登校出現率については、児童生徒1,000人当たりの数

※<国立学校数> 小学校2校、中学校2校、特別支援学校1校

<公立学校数(分校含む)> 小学校273校、中学校141校(中等教育学校前期課程1校を含む)、
高等学校59校(中等教育学校後期課程1校を含む)、特別支援学校13校

<私立学校数> 中学校8校、高等学校22校

令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題の現状について

(1) 暴力行為（国公立小・中・高等学校及び中等教育学校）

⇒ **資料1** (P.6)

区分	令和4年度		
		発生件数	発生率
小	山口県	449 (+61)	7.0 (+1.0)
	全国	61,455 (+13,317)	9.9 (+2.2)
中	山口県	333 (+27)	9.9 (+0.9)
	全国	29,699 (+5,249)	9.2 (+1.7)
高	山口県	43 (+2)	1.2 (±0)
	全国	4,272 (+419)	1.3 (+0.1)
計	山口県	825 (+90)	6.2 (+0.7)
	全国	95,426 (+18,985)	7.5 (+1.5)

※ 発生率は、児童生徒1,000人当たりの発生件数（件）

※ （ ）内は前年度との比較

○ 本県の状況

- ・ 暴力行為の発生件数は、825件（小学校449件、中学校333件、高等学校43件）であり、前年度より90件増加し、過去最多となった。暴力行為の発生率は6.2件であり、全国数値（7.5件）を下回っている。
- ・ 形態別では、「生徒間暴力」が519件（小学校256件、中学校227件、高等学校36件）で最も多く、「対教師暴力」195件、「器物損壊」100件、「対人暴力」11件と続く。

○ 全国の状況

- ・ 暴力行為の発生件数は、95,426件（小学校61,455件、中学校29,699件、高等学校4,272件）であり、前年度より18,985件増加し、過去最多となった。
- ・ 形態別では、「生徒間暴力」が69,580件（小学校45,428件、中学校21,364件、高等学校2,788件）で最も多く、「器物損壊」12,695件、「対教師暴力」11,973件、「対人暴力」1,178件と続く。

(2) いじめ

⇒ 資料2 (P.6)

① 本県の国公立小・中・高・中等教育学校及び特別支援学校の状況

区分	令和4年度		
		認知件数	認知率
小	山口県	2,670 (-275)	41.8 (-3.5)
	全国	551,944 (+51,382)	89.1 (+9.2)
中	山口県	1,008 (-71)	29.8 (-1.9)
	全国	111,404 (+13,467)	34.3 (+4.3)
高	山口県	166 (+19)	5.5 (+1.2)
	全国	15,568 (+1,411)	4.9 (+0.5)
特	山口県	23 (-3)	13.9 (±0)
	全国	3,032 (+337)	20.7 (+2.3)
計	山口県	3,867 (-330)	28.8 (-2.2)
	全国	681,948 (+66,597)	53.3 (+5.6)

※ 認知率は、児童生徒1,000人当たりの認知件数(件)

※ ()内は前年度との比較

○ 本県の状況

- いじめの認知件数は、3,867件(小学校2,670件、中学校1,008件、高等学校166件、特別支援学校23件)であり、前年度より330件減少した。いじめの認知率は28.8件であり、全国数値(53.3件)を下回っている。

○ 全国の状況

- いじめの認知件数は、681,948件(小学校551,944件、中学校111,404件、高等学校15,568件、特別支援学校3,032件)であり、前年度より66,597件増加し、過去最多となった。
- いじめの態様について、全国的に「冷やかしからい、悪口脅し文句」が最も多く、次に小・中・特別支援学校では「軽くぶつかる、遊ぶふりをして叩く、蹴る」、高等学校では「パソコンや携帯電話で、誹謗・中傷や嫌なことをされる」が続いている。

② 本県のいじめ防止対策推進法第28条第1項に規定する重大事態の状況

区分	令和4年度	
	重大事態の発生件数	発生率
山口県	18 (+8)	0.13 (+0.06)
全国	923 (+217)	0.07 (+0.02)

※ 発生率は、児童生徒1,000人当たりの「重大事態」の発生件数(件)

※ 令和2年度調査から県別を公表

○ 本県の状況

- いじめの重大事態の発生件数は18件である。発生率は0.13件であり、全国数値(0.07件)を上回っている。

○ 全国の状況

- いじめの重大事態の発生件数は923件である。前年度より217件増加した。

(3) 不登校

⇒ **資料3** (P.7)

① 本県の国公立小・中学校及び中等教育学校前期課程の状況

区分	令和4年度	
	不登校 児童生徒数	出現率
小	山口県	973 (+166) 15.2 (+2.8)
	全国	105,112 (+23,614) 17.0 (+4.0)
中	山口県	2,060 (+264) 61.0 (+8.2)
	全国	193,936 (+30,494) 59.8 (+9.8)
計	山口県	3,033 (+430) 31.1 (+4.8)
	全国	299,048 (+54,108) 31.7 (+6.0)

※ 出現率は、児童生徒1,000人当たりの不登校児童生徒数（人）

※ () 内は前年度との比較

○ 本県の状況

- ・ 小・中学校及び中等教育学校前期課程において、年30日以上欠席した不登校児童生徒数は3,033人であり、前年度より430人増加し、過去最多となった。不登校児童生徒の出現率は31.1人であり、全国数値（31.7人）を下回っている。
- ・ 校種別では、小学校973人で前年度より166人増加、中学校2,060人で264人増加した。不登校児童生徒の出現率は、小学校は15.2人で全国数値（17.0人）を下回っている。中学校は61.0人であり、全国数値（59.8人）を上回っている。

○ 全国の状況

- ・ 不登校児童生徒数は299,048人であり、前年度より54,108人増加し、過去最多となった。
- ・ 校種別では、小学校105,112人で前年度より23,614人増加、中学校193,936人で、30,494人増加した。
- ・ 小学校不登校の要因について、全国的に「無気力、不安」が多く、次に「生活リズムの乱れ・あそび・非行」、「親子の関わり方」が続いている。
- ・ 中学校不登校の要因について、全国的に「無気力、不安」が多く、次に「生活リズムの乱れ・あそび・非行」、「いじめを除く友人関係をめぐる問題」が続いている。

② 本県の高等学校及び中等教育学校後期課程の状況

区分	令和4年度	
	不登校 児童生徒数	出現率
高	山口県	345 (-3) 11.4 (+0.2)
	全国	60,575 (+9,590) 20.4 (+3.5)

※ 出現率は、生徒1,000人当たりの不登校生徒数（人）

※ () 内は前年度との比較

○ 本県の状況

- ・ 高等学校及び中等教育学校後期課程において、年30日以上欠席した不登校児童生徒数は345人であり、前年度より3人減少した。不登校生徒の出現率は11.4人であり、全国数値（20.4人）を下回っている。

○ 全国の状況

- ・ 不登校生徒数は60,575人であり、前年度より9,590人増加した。
- ・ 不登校の要因について、全国的に「無気力、不安」が多く、次に「生活リズムの乱れ・あそび・非行」、「いじめを除く友人関係をめぐる問題」が続いている。

(4) 中途退学（高等学校及び中等教育学校後期課程） ※（ ）内は前年度との比較（%） ⇒ **資料4**（P.8）

区 分		令和4年度	
		中途退学者数	中途退学率
高	山口県	371 (-11)	1.1 (±0)
	全国	43,401 (+4,473)	1.4 (+0.2)

- 本県の状況
 - ・ 高等学校及び中等教育学校後期中途退学者数は371人であり、前年度より11人減少した。中途退学率は1.1%であり、全国数値（1.4%）を下回っている。
 - ・ 中途退学の理由は、「進路変更」が42.0%で最も多く、次に「学校生活・学業不適応」が33.7%となっている。
- 全国の状況
 - ・ 中途退学者数は43,401人であり、前年度より4,473人増加した。
 - ・ 中途退学の理由は、「進路変更」が43.9%で最も多く、次に「学校生活・学業不適応」が32.8%となっている。

(5) 生徒指導上の諸課題の解決に向けた本県の主な取組

ア 発達支持的生徒指導

- 児童生徒にとって学校が安全・安心な居場所となるための魅力ある学校づくりと分かりやすい授業の工夫
 - ・ いじめ、暴力行為等問題行動を許さない学校づくり
 - ・ 個に応じたきめ細かな学習指導
 - ・ 異校種間連携

イ 課題予防的生徒指導

- 児童生徒のSOSを出す力の獲得と教職員の児童生徒の変化に気付きSOSを受けとめる力の向上
 - ・ スクールカウンセラーによる心理教育プログラムの実施
- いじめの未然防止教育の充実
 - ・ 弁護士によるいじめ予防教室の実施
- 中学校及び高校の入学前後での教育相談体制の充実
 - ・ 中学校及び高校0年生からの教育相談事業の実施
- 不登校生徒等の別室支援及び学校の不登校未然防止の取組の充実
 - ・ 通常の学級での活動が困難となった生徒への支援を行う専任教員を配置した特別の教室（ステップアップルーム）の設置

ウ 困難課題対応的生徒指導

- 課題を抱える児童生徒への継続的支援
 - ・ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等専門家の参画によるケース会議や家庭訪問の実施

エ 関係機関等との連携体制

- 保護者、地域住民等の連携、協働体制の構築
 - ・ コミュニティ・スクール、地域協育ネットの機能や家庭教育支援チーム等を活用し、社会総がかりで児童生徒を支援する体制づくり
- 児童生徒の社会的自立に向けた支援
 - ・ 教育支援センター（適応指導教室）等との連携による支援
- いじめの被害児童生徒への支援及び加害児童生徒に対する指導や支援の充実
 - ・ 警察、児童相談所等の関係機関や少年安全サポーター等専門家との連携による支援

オ その他

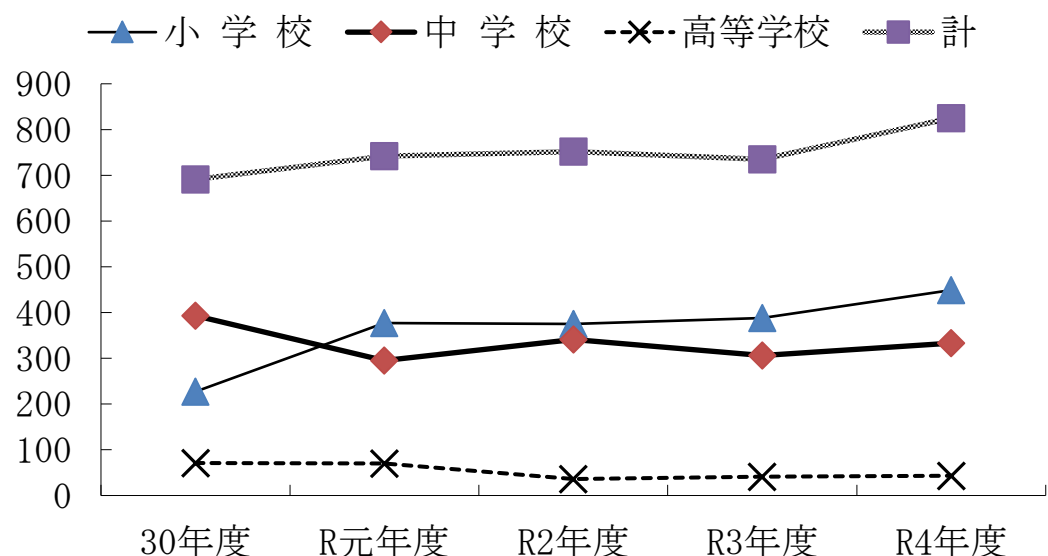
- 学びの多様化学校（いわゆる不登校特例校）の設置検討
 - ・ 不登校児童生徒支援協議会での市町との意見交換等

資料1 暴力行為の状況 (R4 山口県：国公立)

(文部科学省：「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」から)

暴力行為の定義「自校の児童生徒が、故意に有形力（目に見える物理的な力）を加える行為」

<発生件数の推移>



区分	30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
小学校	227	377	375	388	449
中学校	393	295	341	306	333
高等学校	71	70	36	41	43
計	691	742	752	735	825

<暴力行為の内訳 (件数)> ※ () 内は前年度との比較

	対教師	生徒間	対人	器物	計	発生率 (件)
小	141(+41)	256 (-7)	1(+1)	51(+26)	449(+61)	7.0 (+1.0)
中	54(+26)	227(-22)	9(+5)	43(+18)	333(+27)	9.9 (+0.9)
高	0 (-2)	36 (+4)	1(+1)	6 (-1)	43 (+2)	1.2 (±0)
計	195(+65)	519(-25)	11(+7)	100(+43)	825(+90)	6.2 (+0.7)

<全国との比較>

() 内は前年度との比較

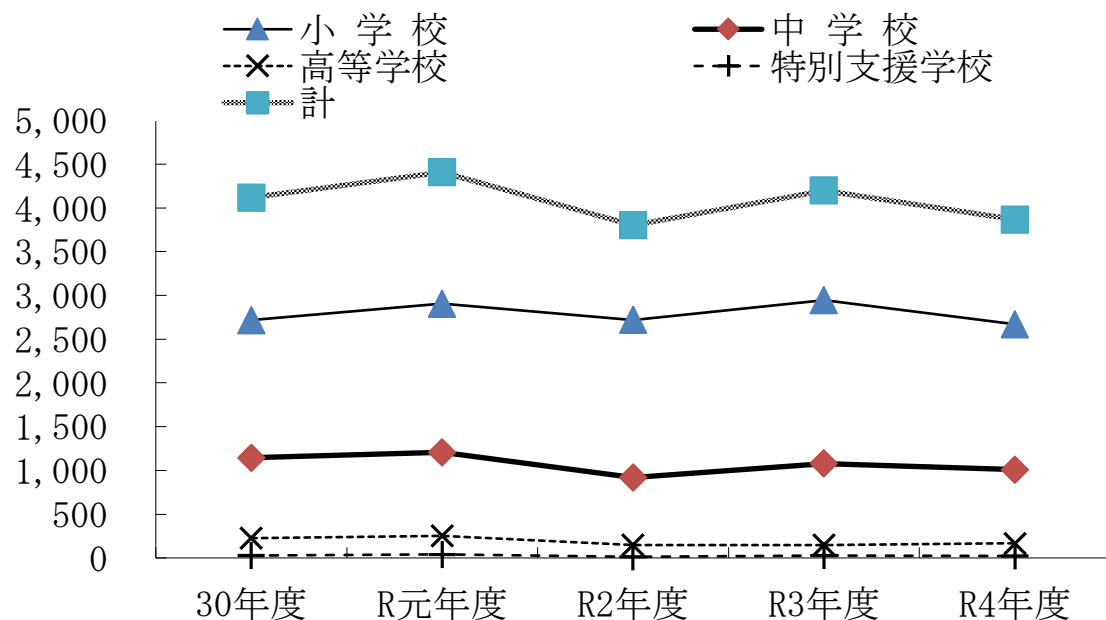
区分	山口県		全国	
	発生件数	発生率(件)	発生件数	発生率(件)
国公立	825(+90)	6.2(+0.7)	95,426(+18,985)	7.5(+1.5)

資料2 いじめの状況 (R4 山口県：国公立)

(文部科学省：「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」から)

いじめの定義「児童生徒と一定の人的関係のある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの」

<認知件数>



区分	30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
小学校	2,716	2,906	2,720	2,945	2,670
中学校	1,144	1,207	919	1,079	1,008
高等学校	226	252	149	147	166
特別支援学校	30	41	13	26	23
計	4,116	4,406	3,801	4,197	3,867

<全国との比較>

() 内は前年度との比較

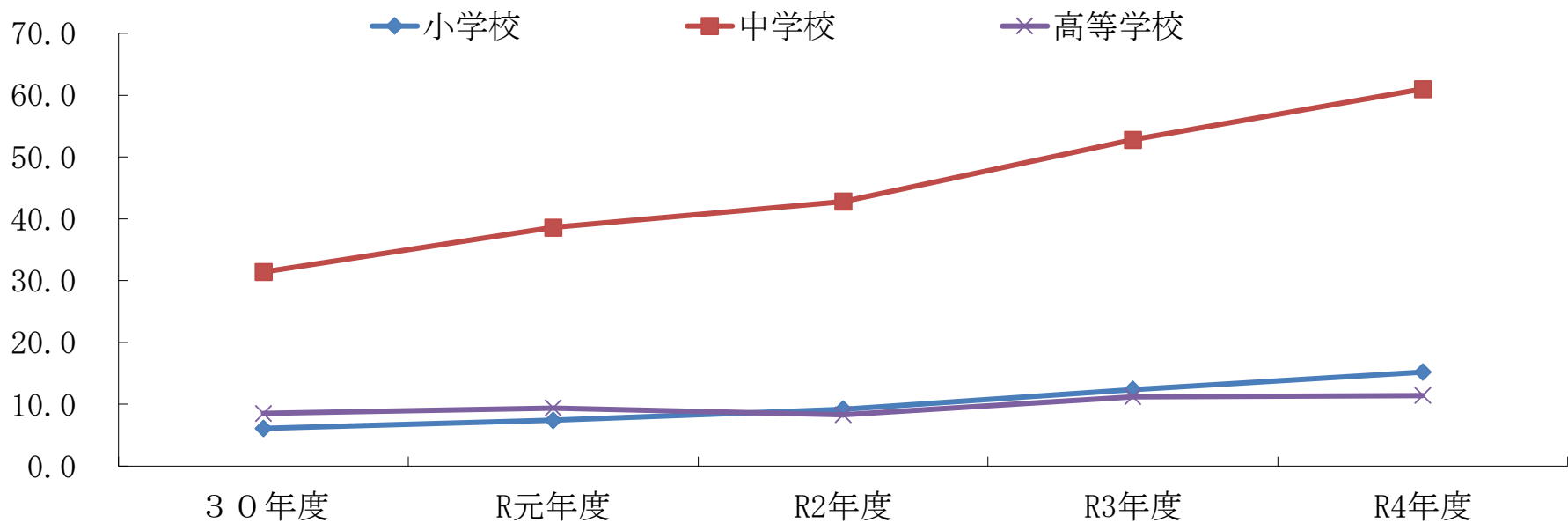
区分	山口県		全国	
	認知件数	認知率(件)	認知件数	認知率(件)
国公立	3,867(-330)	28.8(-2.2)	681,948(+66,597)	53.3(+5.6)

資料3 不登校の状況（R4 山口県：国公立）

（文部科学省：「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」から）

不登校の定義「年度間に30日以上欠席した児童生徒のうち、何らかの心理的、情緒的、身体的、或いは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しない或いはしたくともできない状況にあるもの（病気や経済的な理由によるものを除く）」

<不登校児童生徒出現率の推移（1,000人当たりの不登校児童生徒数）>



不登校児童生徒数

	30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
小学校	413	500	611	807	973
中学校	1,092	1,322	1,455	1,796	2,060
高等学校	287	310	267	348	345

不登校児童生徒出現率

	30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
小学校	6.1	7.4	9.2	12.4	15.2
中学校	31.4	38.6	42.8	52.8	61.0
高等学校	8.5	9.4	8.3	11.2	11.4

<全国との比較>

（ ）内は前年度との比較

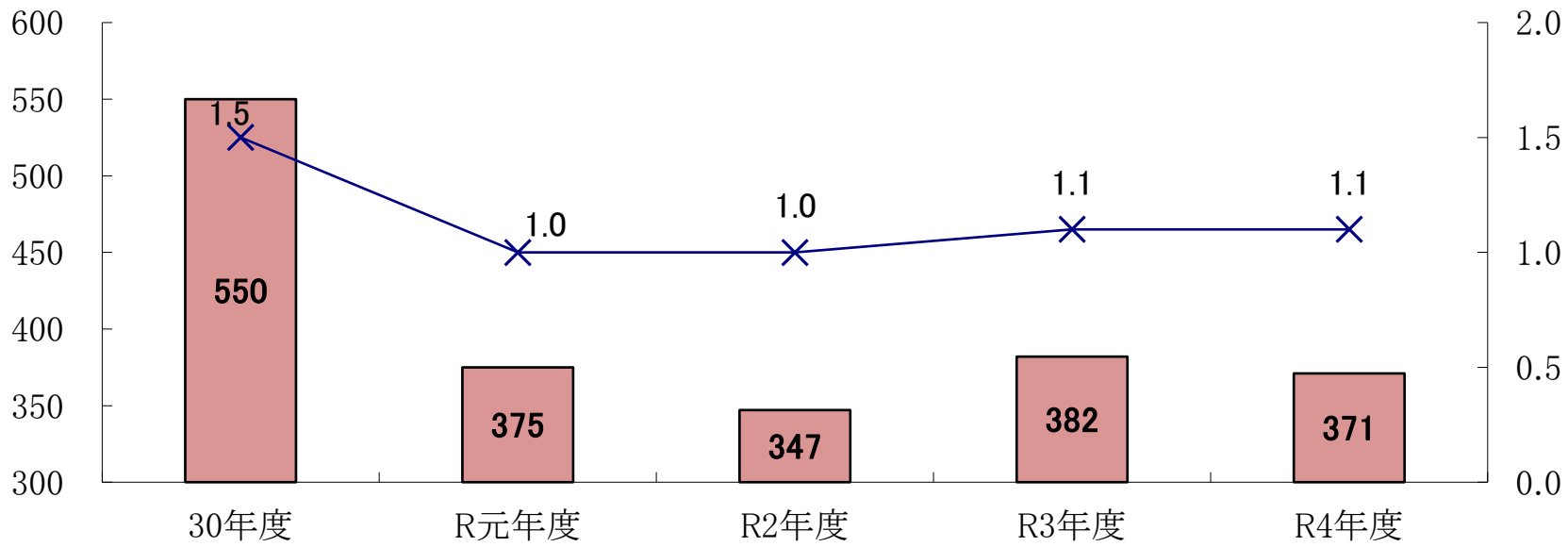
区分	山口県		全国	
	不登校児童生徒数	出現率(人)	不登校児童生徒数	出現率(人)
小学校	973(+166)	15.2(+2.8)	105,112(+23,614)	17.0(+4.0)
中学校	2,060(+264)	61.0(+8.2)	193,936(+30,494)	59.8(+9.8)
高等学校	345(-3)	11.4(+0.2)	60,575(+9,590)	20.4(+3.5)

資料 4

中途退学の状況（R4 山口県：国公立高等学校）

（文部科学省：「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」から）

<中途退学者数及び中途退学率の推移>

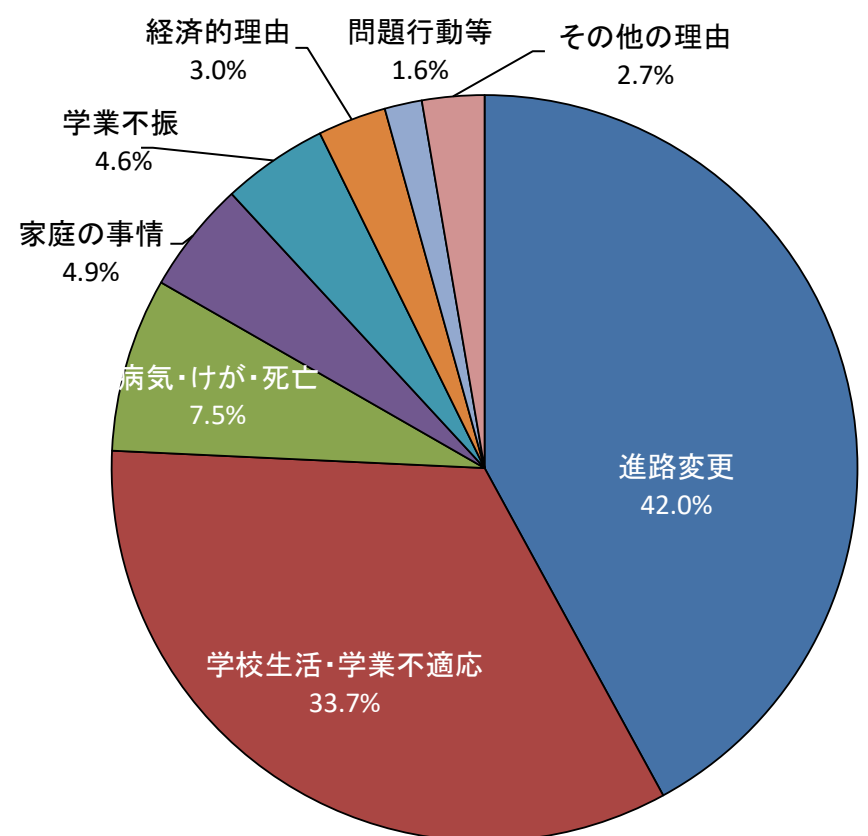


区分	項目	30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
国公立	中途退学者数 (人)	550	375	347	382	371
	中途退学率 (%)	1.5	1.0	1.0	1.1	1.1

<理由別中途退学者数>

() 内は前年度との比較

理由	人数	率
進路変更	156 (+3)	42.0%
学校生活・学業不適応	125 (-11)	33.7%
病気・けが・死亡	28 (+4)	7.5%
家庭の事情	18 (+10)	4.9%
学業不振	17 (-16)	4.6%
経済的理由	11 (+4)	3.0%
問題行動等	6 (-2)	1.6%
その他の理由	10 (-3)	2.7%
計	371 (-11)	-



<全国との比較>

() 内は前年度との比較

区分	山口県		全国	
	中途退学者	中途退学率 (%)	中途退学者数	中途退学率 (%)
国公立	371 (-11)	1.1 (±0)	43,401 (+4,473)	1.4 (+0.2)